

つるみ在宅ケアネットワーク 第18回合同勉強会報告書

日時 平成30年10月5日(金) 19:00~21:00

場所 済生会横浜市東部病院3階多目的ホール

19:00 開会あいさつ

鶴見区医師会理事長 原 直



あいさつ

鶴見区福祉保健センター長 花内 洋 様

第1部

19:10 鶴見薬剤師会より 「鶴見区の薬局機能」

田辺薬局 薬局事業部 河野 一規 様

- ・健康サポート薬局・くすりと健康相談薬局認定薬局・災害時医薬備蓄薬局他
- ・ポリファーマシーを防ぐために
- ・薬局情報提供書



鶴見歯科医師会より

「横浜市在宅高齢者訪問歯科診療 モデル事業効果検証について」

鶴見区歯科医師会長 佐藤 信二 先生

- ・「つるつるお口の相談室」
- ・訪問歯科健診



第2部

19:30 テーマ:「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」

～これを聞けば ばっちりわかる!!～

渡辺医院 院長 渡辺 雄幸 先生

- ・看取りに関わる状況
- ・国民の意識
- ・横浜市の在宅医療等の必要量・死亡者数の推計と死亡場所
- ・高齢者実態調査
- ・今後の方向性
- ・人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン
- ・質疑応答・意見交換



【情報提供 1】 20:30～

「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた鶴見区行動指針 他」

鶴見区高齢障害支援課 地域包括ケア推進担当係長 高橋 一輝 様



20:35～ 「#7119 相談推移 連携ノート救急隊活用状況」

鶴見消防署 救急担当課長 村木 秀臣 様

- ・行政区別相談件数推移 (H30.4～7)
- ・連携イエローノート救急隊活用件数報告



20:40～ 鶴見区在宅医療連携拠点報告

鶴見区医師会在宅部門 鈴木 志律江

- ・鶴見区在宅医療連携拠点「さわやか相談室」の報告
- ・鶴見区医療機関一覧修正版
- ・連携ノートについてインフォメーション



20:45～ 病院ならび参加の先生方のご紹介

在宅医療連携拠点担当医 佐藤 忠昭



20:55～ 閉会のあいさつ

鶴見区医師会副理事長 川名 明徳



【情報提供 2】 21:00～21:30

横浜市鶴見区地域連携ネットワーク「サルビアねっと」 76名出席 (情報提供 2)

株式会社ヘルスケアレイションズ 横田 元 様

以下は第1部.第2部の出席状況

出席者数：132名

医師 17名 歯科医 9名 薬剤師 5名 行政 4名 社協 0名 医療連携室 27名

地域包括 14名 サービス事業所 53名 ICT 関連 3名

(当日出席者：6名 当日欠席者：16名)